

「島津製作所 バイオものづくり神戸事業所」を開所 有用微生物の開発期間を10分の1に短縮へ

本事業所では、有機微生物を育成し、ポリマーの生産過程で発生するガスを分析機器で評価する技術を開発します。システムやネットワークの処理効率を従来比200倍に向上させることで、有用微生物の開発期間を10分の1に短縮することが期待でき、バイオプラスチック製造コストの軽

減で、カーボンニュートラル実現への寄与を目指します。(2025.3.18)



「健康経営優良法人2025 ～ホワイト500～」に認定 「なでしこ銘柄」に選定

経済産業省と日本健康会議による「健康経営優良法人～ホワイト500～」に9年連続で認定されました。同制度は地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議による健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している企業を顕彰するものです。また、女性活躍推進に優れた上場企業として、経済産業省と東京証券取引所により「なで

しこ銘柄」に選定されました。(2025.3.10/3.24)



中国 杭州市に環境・健康イノベーションセンターを開所 最先端分野の研究者との連携を強化し、 環境分野への深耕を図る

中国グループ会社の島津企業管理(中国)有限公司(SSL)は、中国科学院大学 杭州高等研究院環境学院内に「環境・健康イノベーションセンター」を設立しました。浙江省の省都で多数の革新を生み出す杭州市は、今後水質や土壌、大気に関わる環境分析の中心地になると目されてい

ます。中国の環境分野の研究者との連携を強化し、当該分野への深耕を図ります。(2025.4.25)



分析計測事業の米国子会社が米ボストンにラボを開所 製薬分野での事業拡大に向けて 顧客密着の開発を推進

島津製作所の米国子会社 Shimadzu Scientific Instruments, Inc. (SSI) は、2024年4月に開所した R&Dセンター東海岸の拠点として「ボストンラボ」を開所しました。これまでは SSIのNorth Atlantic支店内にありましたが、より顧客拠点と密接に連動した研究・開発のため、ボストン市

街中心部に近いライフサイエンス企業向け共有ラボ施設(LabShares)内に機能を移しました。メタボロミクス関連など製薬企業のニーズに即した開発を同ラボで行い、試作品を顧客拠点に持ち込んで共同で評価します。(2025.3.31)

小学生に大人気の「科学漫画サバイバル」シリーズと 島津製作所がコラボレーション オリジナル小冊子を発行!

科学の知識を漫画で学べる「科学漫画サバイバル」シリーズとコラボレーションし、オリジナル小冊子『分析世界のサバイバル』を制作しました。今回の舞台はハロウィーンパーティー中の研究室。突如現れ、「マジック勝負」を仕掛けてきたマジック男爵に、主人公たちは島津製作所の分析装置を使って対抗します。果たして、

タネを見破ることができるのでしょうか。



小冊子の閲覧はこちらから。(株)朝日新聞社のWebサイトにリンクします。



テニスチームに社員選手2人が加入 デフリンピック日本代表の孤方里菜と 学生トップクラスの鈴木渚左

「SHIMADZU Breakers」に社員選手として孤方里菜、鈴木渚左が加入しました。孤方は、2025年11月に開催される聴覚障がい者の国際スポーツ大会「デフリンピック」東京大会の日本代表に選出されており、メダル獲得を目指します。鈴木は、堤華蓮(2024年加入)とともに京都府代表として「第

79回国民スポーツ大会」の近畿予選を通過し、2025年9月の本大会に出場します。(2025.4.1/7.17)



孤方里菜



鈴木渚左

※NEWS & TOPICSでは法人名・団体名を以下のように省略しています。株式会社…(株)、国立大学法人…(大)、学校法人…(学)、公益財団法人…(公財)、一般社団法人…(社)、相互会社…(相)、国立研究開発法人…(国研)
※記載されている会社名、製品名、サービスマークおよびロゴは、各社の商標および登録商標です。なお、本文中では「TM」、「®」を明記していない場合があります。※所属・役職は取材当時のものです。

＜読者のみなさまの声＞ ◆特に佐々木蔵之介さんと、福岡大学筑紫病院の植木敏晴先生のお話がよかったです。◆「心理的安全性」特集はとても興味深かったです。当院の放射線科でも組織の環境づくりについて模索しています。ヒントになる事柄がたくさん記載されており、とても勉強になりました。◆自分は診療放射線技師なので、医療系の記事をたくさん盛り込んでいただければありがたいです。◆いつも興味深い内容が多く、刺激を受けております。今後も読者を刺激し続ける内容を期待しています！◆島津の営業の方がいつも最新の「ぶーめらん」を提供してくれて、楽しく読ませてもらっています。◆分析機器の開発や技術に関する記事を興味深く拝見しています。日本の技術の進歩へ貢献していただけることを期待しています。

＜編集部より＞ 武士の時代が終わりを告げ、明治となり世の中は大きく変わりました。その一つが暦です。明治政府は月の満ち欠けに太陽の動きを加えた太陰太陽暦から、欧米で用いられている太陽暦へ改暦しました。明治6(1873)年のことでした。日本で太陰太陽暦が使われ始めたのは6世紀後半に大陸から伝来したのが始まりだそうです。以来約1300年にわたり用いられてきた暦が一夜にして変わり、人々の生活は一変したことでしょう。しかし、月と深く結びついた旧暦には立春や夏至、秋分など季節の移り変わりを表す二十四節気があり、今なお私たちの生活に根付いています。その月が一年で最も美しいとされるのが「中秋の名月」です。秋の夜長、日頃の喧騒を忘れて美しい月を見上げてみませんか。遠くはなれたところで同じ月を見上げている人がきっといることでしょう。